

一般選抜における受験上の注意事項

＜受験について＞

- ① 試験問題の解答は、マークシート方式と記述式を併用しています。マークシート方式の試験においては以下の点にご注意ください。
 - ・ 解答には、必ず「黒鉛筆（H、F、HB に限る）」と「消しゴム」を使用してください。「H、F、HB の黒鉛筆以外のもの」や「シャープペンシル」を使用して解答した場合、解答が読み取れないことがありますので、使用しないでください。
 - ・ マークは、解答用紙の「マーク記入例」に従って、正しく記入してください。
マークが薄い、一部分しか塗っていない、訂正箇所を消しゴムできれいに消していない（消し跡が残っている）場合は、解答が正しく読み取れないことがあります。
- ② 学科によって指定されている指定教科を受験しなかった場合、不合格（合否判定を行えない）となりますので、十分注意してください。特に学生募集要項 44 ページ「出願時の留意事項」の『一般選抜の指定教科「数学」について』をよくご確認ください。
- ③ 試験当日は、NET 出願マイページから受験票を印刷し、持参してください。
受験票を忘れた場合は、試験場の本学担当者に申し出てください。
- ④ 遅刻は、試験開始後 30 分まで認めます。やむを得ない事情（公共交通機関の遅れなど）により遅刻した場合は、試験場の本学担当者に申し出てください。
- ⑤ 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等は、アラームの設定を解除し、試験室及び控室に入る前に電源を必ず切ってカバンなどにしまってください。また、時計として使用することもできませんので、時計は別途用意してください。
- ⑥ 受験時の服装は自由です。ただし、英文字等が入っているものの着用はご遠慮ください。また試験場とも、上履きは不要です。
- ⑦ 筆記試験中に使用できるものは、黒鉛筆（H、F、HB に限る）、鉛筆キャップ、シャープペンシル（メモや計算に使用する場合のみ可、黒芯に限る）、消しゴム、鉛筆削り（電動式は使用不可）、時計、メガネ、目薬、袋から出したティッシュペーパーのみです。時計は、辞書・計算・翻訳・通信機能などがついていないものを使用してください。
- ⑧ 試験時間中は、試験室から退室できません。
- ⑨ その他、試験室や控室においては、掲示、監督者及び担当者の指示に従ってください。

＜不正行為について＞

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と、退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、一般選抜〔後期〕の全ての成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ① 志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（志願票に本人以外の写真を登録することや解答用紙に本人以外の氏名、受験番号を記入するなど）をすること。
- ② カンニング（試験の教科、科目に関するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ④ 配布された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

- ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑥ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ⑦ 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）コンパス、電卓、そろばん等の補助具を使用すること。
- ⑧ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ＩＣレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
- ⑨ 「解答やめ。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- ⑩ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑪ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑫ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。